

公共施設等総合管理計画策定WG 次回WGに向けて

1 将来費用推計に対する意見等について							
2 将来費用推計を踏まえた現状と課題の抽出							
※ 26年度調査時回答							
(1) 現状と課題	道路	橋りょう	トンネル	上水道	下水道	公園	ハコモノ
	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	◎秦野市橋りょう耐震補強計画及び秦野市橋りょう長寿命化計画の中に記載	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	◎施設ごとの建築年、土地・床面積、利用状況等について把握済み。	管きよについては、汚水530k m雨水313k mとあり、老朽化した管きよが増加して行くことから維持管理費が増大する。また処理場についても供用開始してから30年以上経過しているため施設の老朽化が進み維持費用が増加する。	市の管理対象都市公園206箇所の大部分の公園が昭和44年から昭和61年に整備された公園であり、供用開始から27～44年が経過し、老朽化している施設が多い。（遊具耐用年数が短い施設が多いため更新費用は年々増加する。）	◎施設ごとの建築年、土地・床面積、利用状況、施設管理運営費等について把握済み。原則として、新規のハコモノは建設しない。
(2) 管理に関する基本的な考え方							
ア 取組状況(計画等の策定状況と計画期間)	道路	橋りょう	トンネル	上水道	下水道	公園	ハコモノ
		・秦野市橋りょう耐震補強計画（H25.11） ・秦野市橋りょう長寿命化計画（H24.8）		はだの水道ビジョン（H21.10）、秦野市水道事業計画（H22.11）	○管渠 ①秦野市下水道総合地震対策計画（H25.4） ●処理場 ①秦野市下水道総合地震対策計画（H25.4） ②秦野市下水道長寿命化計画（秦野市浄水管理センター）（H24.9） ③秦野市下水道長寿命化計画（秦野市浄水管理センター水処理施設第1系列建築設備）（H25.3） ④秦野市下水道長寿命化計画（秦野市浄水管理センター沈砂池管理棟建築設備）（H26.3）	『秦野市公園施設長寿命化計画（H26.2）』・平成26年度～平成35年度の10箇年計画であり、計画対象公園は、地区・近隣・運動公園等大規模な公園及び駅の近くや利用者の多い公園など18公園。 『秦野市公園再生構想（H20.3）』・街区公園並びに街区公園に準ずる市で管理する公園を対象とした地域の身近な公園の再生を市民が主体となって行うこれからの公園づくりの基本的な考え方を示す構想。	・秦野市公共施設再配置計画（H23.3） ・秦野市耐震化促進計画（H21.3）
イ 点検、診断等の実施方針	道路	橋りょう	トンネル	上水道	下水道	公園	ハコモノ
	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	◎秦野市橋りょう耐震補強計画及び秦野市橋りょう長寿命化計画の中に記載	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	◎点検・診断等の実施方針については5年ごとに見直しの予定	○管渠：最初に建設し供用開始した幹線の一部の点検調査を実施済（H23）であり、健全度が高かったため、一定期間をおいて継続調査に着手する。また、民間施設の移管を受けた管渠についても老朽化が進んでいるため調査する。管渠の簡易耐震診断を実施済 ●処理場：H22の調査でH36までの長寿命化計画を策定済。耐震診断については、設備の再構築に併せて実施する。	国土交通省「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」及び、一般社団法人日本公園施設業協会（JPFA）が策定した「遊具の安全に関する指針」に基づき、市内全公園を対象に毎年1回の定期点検を実施している。	△耐震診断実施済み。建築物の点検、履歴の蓄積等については検討を要する。
ウ 維持管理、修繕、更新等の実施方針	道路	橋りょう	トンネル	上水道	下水道	公園	ハコモノ
	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	◎秦野市橋りょう耐震補強計画及び秦野市橋りょう長寿命化計画の中に記載	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	◎30年間の想定更新費用の把握。	それぞれの調査において優先度を決定するとともに、事業箇所や老朽化の状況を定期的に点検し、問題箇所の早期発見に努めるとともに修繕により、安全で景観的に良好な状態を維持。特に今まで行ってきたこまめな対応による補修・修繕・塗装は継続して実施していくことにより、施設の長寿命化を図る。	◎40年間の想定更新費用の把握。指定管理者やPPPの導入、適正な利用者負担見直し等による維持管理費の圧縮について記載。	

エ 安全確保の実施方針	道路	橋りょう	トンネル	上水道	下水道	公園	ハコモノ
	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	○秦野市橋りょう耐震補強計画及び秦野市橋りょう長寿命化計画の中に記載	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	○点検により危険性が認められた施設の安全確保について取組中。	○管渠：平成17年度に実施した簡易耐震診断により、許容値内であるため、老朽化調査に応じて対応を図る。 ●処理場：有事の際の水処理機能の確保と老朽化調査に基づく再構築を優先するとともに、効率性や合理性から、設備の再構築に併せて施設の耐震補強を実施する。	国土交通省及び日本公園施設業協会の遊具の日常点検マニュアルに則り点検を行い、D判定施設は即時利用中止とし、撤去・更新を実施する。	△点検により危険性が認められた建築物の安全確保について検討を要する。
オ 耐震化の実施方針	道路	橋りょう	トンネル	上水道	下水道	公園	ハコモノ
		○秦野市橋りょう耐震補強計画の中に記載	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	○秦野市水道事業計画で、耐震化の目標について記載。	○管渠：耐震補強については、広域避難所などの防災拠点から処理場までの管渠の耐震補強を平成29年度までに完了するよう事業進捗を図ることとした。また、公共下水道区域の広域避難所には、マンホールトイレ対応施設を設置している ●処理場：有事の際に、市民が利用している「中野健康センター」及び下水道部職員や維持管理者が常駐している「沈砂池管理棟」の重要度が高いため、水処理棟第1系列及び沈砂池管理棟の耐震補強を優先する。なお、今後も設備の長寿命化に併せて施設の耐震補強を実施する方針	公園内の旧耐震基準により建設された施設について、土木構造物は擁壁・橋梁・木橋の種別ごとの既往マニュアルに準じて調査を実施し、建築物は、目視による調査判定を行う。なお、独自の構造計算のものであれば対象とする。	○秦野市耐震化促進計画で、庁舎等、学校、市営住宅の耐震目標について記載
カ 長寿命化の実施方針	道路	橋りょう	トンネル	上水道	下水道	公園	ハコモノ
	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	○秦野市橋りょう長寿命化計画の中に記載	○委託業務（H26年度予定）を発注し、現状を把握し調査、検討する。	△長寿命化を図るため予防的保全や部分改修計画の立案、検討を要する。	○管渠：現在老朽化状況を把握できていないため、今後、下水道施設としての重要度の面と道路陥没などの事故発生を未然に防ぐ面の両面から調査が必要 ●処理場：最初に建設した設備のなかでも、健全度が悪く、水処理機能の中核である沈砂池設備と水処理設備の再構築を優先して実施することとした。なお、H36までの差構築を策定済である。	「秦野市公園施設長寿命化計画（H26.2）」に基づき、修繕頭皮用の平準化に配慮した管理運営計画（優先順位）について、予防保全型管理における長寿命化対策の立案・検討・実施を行う。	△建築物の長寿命化を図るための予防的修繕の実施について検討を要する。
キ 統合や廃止の推進方針	道路	橋りょう	トンネル	上水道	下水道	公園	ハコモノ
				○配水ブロックごとに統合や廃止の検討を要する。	○管渠：維持管理の効率性から、マンホールポンプ施設の数を減らすことについて検討する必要がある ●処理場：流域下水道への編入や汚泥処理の受け入れなど継続的に県へ要望する	本市の一人当たりの都市公園面積は現在約6.42㎡/人となっており、目標である10㎡/人に対し、今後の人口推計を考慮しても不足となっているため、統合や廃止の検討を行う状況にはないと考えられる。	○小・中学校を中心としたコミュニティ拠点を形成し、機能の移転を図る。